

4. 活動報告

4.1 八都県市首都直下地震対策研究協議会

首都直下地震による被害軽減を目的として、八都県市の行政職員と首都直下地震防災・減災プロジェクトの研究担当者が「協働」で、地域の防災力の向上を図るための研究会として「八都県市首都直下地震対策研究協議会」を設立した。

4.1.1 第5回八都県市首都直下地震対策研究協議会

4.1.1.1 開催日時：平成20年4月18日（金）13:30～16:30

4.1.1.2 開催場所：キャンパスイノベーションセンター 多目的室2

4.1.1.3 議事次第・発表者

①東京大学生産技術研究所・産学官連携研究員 秦康範

「災害時におけるライフライン情報の共有と課題」

②（独）産業技術総合研究所・主任研究員 野田五十樹

「減災情報共有データベースの機能と応用」

③東京大学情報理工学系研究科・教授 竹内郁雄

「汎用災害情報ビューア技術」

4.1.2 第6回八都県市首都直下地震対策研究協議会

4.1.2.1 開催日時：平成20年5月16日（金）13:30～16:30

4.1.2.2 開催場所：キャンパスイノベーションセンター 国際会議室

4.1.2.3 議事次第・発表者

①岐阜大学・教授 能島暢呂

「ライフライン被害波及モデルと解析法の構築」

②筑波大学・准教授 庄司 学

「交通インフラ網等の復旧を基点とした広域連携による復旧効率化に関する検討」

③横浜国立大学・教授 佐土原 聡

「自律分散型拠点構築に向けた実態把握と分析」

4.1.3 第7回八都県市首都直下地震対策研究協議会

4.1.3.1 開催日時：平成20年6月20日（金）13:30～16:30

4.1.3.2 開催場所：キャンパスイノベーションセンター 国際会議室

4.1.3.3 議事次第・発表者

①首都大学東京・助教 市古太郎

「東京圏基礎自治体における震災復興対策の事前取り組みに関する調査報告
-H19年度自治体アンケート調査結果-」

②明治大学危機管理研究センター・研究員 西村 弥

「FGIによる住民意識の調査—復興イメージを中心に」

③人と防災未来センター・研究主幹 越山健治

「阪神・淡路大震災後の住宅復興の変遷とその関係因子の考察」

- ④ 東京大学大学院工学系研究科・助教 加藤孝明
「市街地復興・生活支援ニーズの把握：復興プロセスモデルの構築のための基礎作業」
- ⑤ 京都大学防災研究所・准教授 牧紀男
「政策評価の枠組みと未来市場予測システム」
- ⑥ 首都大学東京・教授 中林一樹
「待ちの復興から攻めの復興へ」
- ⑦ 京都大学防災研究所 教授 林春男
「総括」

4.1.4 第8回八都県市首都直下地震対策研究協議会

- 4.1.4.1 開催日時：平成20年7月18日（金）13:30～16:30
- 4.1.4.2 開催場所：キャンパスイノベーションセンター 国際会議室
- 4.1.4.3 議事次第・発表者
 - ① 同志社大学・教授 立木茂雄
「防災で「使える」人材能力を測る：災害対応コンピテンシー・プロフィール
検査紙（DRCPI）第1（消防）版の開発過程」
 - ② 大分大学・准教授 山崎栄一
「被災者台帳システム構築に関する政策法務上の課題」

4.1.5 第9回八都県市首都直下地震対策研究協議会

- 4.1.5.1 開催日時：平成20年9月19日（金）13:30～16:30
- 4.1.5.2 開催場所：キャンパスイノベーションセンター 国際会議室
- 4.1.5.3 議事次第・発表者
 - ① 東京大学生産技術研究所・教授 目黒公郎
「広域的情報共有と応援体制の確立」評価実験に向けて」
 - ② 山梨大学医学工学総合研究部・教授 鈴木猛康
「災害対応に必要な情報共有」
 - ③ (財) 消防科学総合センター・研究員 阿部英樹
「空間構成を考慮した市街地延焼火災の情報共有について」
 - ③ (独) 宇宙航空研究開発機構・研究員 小林啓二
「災害時における地上と航空機間の情報共有について」

4.1.6 第10回八都県市首都直下地震対策研究協議会

- 4.1.6.1 開催日時：平成20年11月21日（金）13:30～16:30
- 4.1.6.2 開催場所：キャンパスイノベーションセンター 国際会議室
- 4.1.6.3 議事次第・発表者
 - ① (株) イー・アール・エス・技師長 水越 熏
「首都圏における集合住宅の現状と震災時の課題」
 - ② 富士常葉大学大学院環境防災研究科・准教授 高島正典
「穴水町「くらしの再建カルテ」の運用をとおして見えてきたこと」

4.1.7 第11回八都県市首都直下地震対策研究協議会

4.1.7.1 開催日時：平成20年12月19日（金）13:30～16:30

4.1.7.2 開催場所：キャンパスイノベーションセンター 国際会議室

4.1.7.3 議事次第・発表者

①筑波大学・准教授 庄司 学, 横浜国立大学・特別研究教員 稲垣景子,

横浜国立大学・産学連携研究員 岡西 靖

「首都圏ライフライン施設の現状調査」

②千葉大学・助教 丸山喜久

「千葉県北西部地震と新潟県中越沖地震におけるライフライン施設の

地震被害の空間相関性」

③鹿島建設(株)技術研究所・上席研究員 永田 茂

「企業活動に対するライフライン・インフラの機能障害の影響について」

4.1.8 第12回八都県市首都直下地震対策研究協議会

4.1.8.1 開催日時：平成21年3月27日（金）13:30～16:30

4.1.8.2 開催場所：キャンパスイノベーションセンター 国際会議室

4.1.8.3 議事次第・発表者

①東京大学社会科学研究所・助教 佐藤慶一

「復興の拠点とすべき「仮住まい」に関する対応について」

②明治大学・教授 市川宏雄, 明治大学危機管理研究センター・研究員 西村弥,

佐々木一如, 研究助手 飯塚智規

「復興シナリオの構築に関する考察」

4.2 全体ワークショップ

4.2.1 第3回ワークショップ（以下のプログラムのとおり）

首都直下地震防災・減災プロジェクト

2008年7月28日（月）

都心防災施設巡りのご案内 最初の集合時刻 午前10時50分

首都直下地震が起きたときに、国の広域的防災拠点、都の防災活動拠点はどのような機能を果たすのでしょうか。巨大集客施設や業務施設を抱える大企業は、どんな対策をとっているのでしょうか。各施設のご厚意により、1日で3箇所を見学できることになりました。みなさまのご参加をお待ちしています。

見学要領

施設間の移動は参加者各自の自由とし、**見学場所ごとに集合**します。時間厳守をお願いします。

各施設間の移動時間に余裕はありません。昼食を済ませてから、ご参集下さるようお願いいたします。

ご参考に、裏面に移動交通経路をご紹介します。

①有明の丘基幹的広域防災拠点施設 東京駅から移動所要時間 30分

集合時刻 午前10時50分<時間厳守>

集合場所 ゆりかもめ 有明駅 東出口1階エレベーター前
※「有明テニスの森」駅ではありません。ご注意ください。

見学時間 午前11時～12時（広域防災拠点、公園事業の説明時間含む）

見学内容 有明広域防災拠点施設



②六本木ヒルズ 有明の丘広域的基幹防災拠点施設からの移動所要時間 45分

集合時刻 午後0時50分<時間厳守>

集合場所 六本木ヒルズ66プラザ「蜘蛛のオブジェ（ママン）」の足下
地下鉄日比谷線日比谷駅からエレベーターで上がってすぐ

見学時間 午後1時～2時30分（講義式説明時間含む）3班に分かれて見学します。

見学箇所 ・シネマコンプレックス屋上庭園制震装置（グリーンマスダンパー）

- ・震災用井戸
- ・防災センター



③東京都庁 防災センター 六本木ヒルズからの所要時間 30分

集合時刻 午後3時<時間厳守>

集合場所 東京都庁第1本庁舎9階 緑Fエレベーターで9階にお上がり下さい。

見学時間 午後3時～午後4時45分（ビデオ上映、概要説明含む）

見学場所 指令情報室、通信室等 2班に分かれて見学します。



欠席の連絡（25日まで）は、

京都大学防災研究所 巨大災害研究センター 大橋まで

都心防災施設巡りに関する問い合わせ・26日になっての欠席の連絡は、

首都大学東京都市環境科学研究科中林研究室 小田切まで

※当日の連絡をお受けすることができません。各施設ごとの集合時刻に遅れた場合は、当該施設の見学に参加できない可能性がありますのでご注意ください。

第3回・首都直下全体ワークショップ(平成20年7月28日(月)～7月29日(火))

全体司会 立本 茂雄(同志社大学社会学部教授)

期日	時間	作業1	作業2	作業3	作業4	作業5	作業6	作業7	作業8	作業9	作業10	作業11	作業12	作業13	作業14	作業15
28日	17:15~17:20	28日 17:20~17:40	28日 17:40~18:10	28日 18:10~19:30	28日 9:00~9:15	28日 9:15~9:25	28日 9:25~10:05	28日 10:05~10:25	28日 10:25~10:45	28日 10:45~11:45	28日 11:45~12:00	28日 13:00~15:00	28日 13:30~16:10	28日 16:10~16:25	28日 16:25~16:30	29日 16:30~17:00
29日	17:15~17:20	29日 17:20~17:40	29日 17:40~18:10	29日 18:10~19:30	29日 9:00~9:15	29日 9:15~9:25	29日 9:25~10:05	29日 10:05~10:25	29日 10:25~10:45	29日 10:45~11:45	29日 11:45~12:00	29日 13:00~15:00	29日 13:30~16:10	29日 16:10~16:25	29日 16:25~16:30	30日 16:30~17:00
タイトル	あいさつ	あいさつ	「都心」に関する情報の共有	「都心」に関する情報の共有	「都心」に関する情報の共有	「都心」に関する情報の共有	「都心」に関する情報の共有	「都心」に関する情報の共有	「都心」に関する情報の共有	「都心」に関する情報の共有	「都心」に関する情報の共有	「都心」に関する情報の共有	「都心」に関する情報の共有	「都心」に関する情報の共有	「都心」に関する情報の共有	「都心」に関する情報の共有
講師	なし	なし	なし	なし	なし	なし	なし	なし	なし	なし	なし	なし	なし	なし	なし	なし
参加者	なし	なし	なし	なし	なし	なし	なし	なし	なし	なし	なし	なし	なし	なし	なし	なし
内容	なし	なし	なし	なし	なし	なし	なし	なし	なし	なし	なし	なし	なし	なし	なし	なし
資料	なし	なし	なし	なし	なし	なし	なし	なし	なし	なし	なし	なし	なし	なし	なし	なし
その他	なし	なし	なし	なし	なし	なし	なし	なし	なし	なし	なし	なし	なし	なし	なし	なし

首都直下地震防災・減災特別プロジェクト 山の手まち歩きの集合場所



集合時間 1月6日(火)午前11時
(受付時間 午前10時45分～11時15分)
集合場所 JR中央線 高円寺駅改札(改札口は1カ所です)
まち歩き終了予定時刻 午後5時
お願い 歩きやすく滑りにくい靴でおいでください。



今回のまち歩きのテーマは、東京山の手の密集住宅地です。ふるってご参加ください。

1 高円寺・阿佐ヶ谷まち歩き

中央線高円寺駅・阿佐ヶ谷駅間の南側・北側一帯を歩きます。昭和初期、中央線に阿佐ヶ谷・高円寺両駅が開設され、関東大震災後の都心からの移住者を受け入れて、畑と田んぼだった一帯が市街化されたまちです。木造アパート、コーヒー杯で粘れるカフェ、古着屋、銭湯など、お金がなくても生活できるまち、かつて川端康成、石川達三、北原白秋が暮らしたまちでもあります。昔の水路が細く宅地の裏を縫い、その一方で瀟洒なマンションも建ち並びます。高円寺純情商店街、阿波踊りで有名なパール商店街など駅前には最強商店街がつながっています。

まち歩きの資料を、集合場所の高円寺駅でお渡します。みなさん、それぞれに好きなコースを歩いて、第2集合場所に向かってください。時間は十分ありますので、昼食は高円寺・阿佐ヶ谷でお楽しみください。



2 ミニ講演会「(仮題)山の手密集住宅地の成り立ち」

杉並区密集市街地整備を担当している職員の方に、山の手の密集住宅地の成り立ち、特性、住んでいる方々の防災に対する意識などのお話を、ミニ講演会(30～40分間)の形式で伺います。

集合時刻 午後0時50分までにご参集ください。(午後1時講演開始)

集合場所 杉並区役所 6階 中棟 第4会議室 (西棟EVをご利用ください) 杉並区阿佐谷南1-15-1

3 蚕糸の森公園周辺不燃化まちづくり(杉並区役所から地下鉄と徒歩で約20分)

密集住宅地の中の国の研究機関の移転を契機に取り組みされた不燃化まちづくり・蚕糸の森公園を見学します。このまちづくりでは、いくつものプロジェクトが実施されていますが、当日は、コンサルタントとして不燃化まちづくりに携わった吉川仁さんによるフポイント講座「(仮題)不燃化を実現させた建て替え支援」を、現地で伺います。

集合時刻 午後2時30分に現地講座を開始します。

集合場所 蚕糸の森公園 南側 1500t 応急給水槽前(当日配布資料に地図あり)



4 神田川環状7号線地下調節池見学(蚕糸の森公園南端から徒歩20分)

環状7号線の地下40mの深さを延々と掘り抜いて建設された神田川地下調節池を見学します。(直前に天候が雨だった場合は、現場見学は中止し、取水施設でのレクチャのみになります。また、調節池内部は照明がありません。)

集合時刻 午後3時20分(午後3時30分に見学開始)

集合場所 善福寺川取水施設(杉並区堀ノ内2-1-1)インフォメーションセンター

※見学終了(午後5時を予定)後、振り返りワークショップのため、虎ノ門パストラルホテルに移動します。



参加申し込み後の予定変更の連絡(12月26日(金)まで)は、

京都大学防災研究所 巨大災害研究センター 大橋まで

山の手まち歩きに関する問い合わせ・年明け(1月5日のみ)の予定変更の連絡は、

首都大学東京 都市環境科学研究科 中林研究室 小田切まで

※1月6日当日の連絡をお受けすることができません。それぞれの集合時刻に間に合わない場合は、見学・講演等に参加できない場合がありますので、あらかじめご了承ください。

4.3 サブリーダー会議

(研究代表者と個別研究テーマ代表者で構成)

研究代表者：林 春男

個別研究テーマ代表者：重川希志依・中林一樹・目黒公郎・山崎文雄

4.3.1 第3回サブリーダー会議

4.3.1.1 開催日時：平成20年11月21日(金) 16:30-17:30

4.3.1.2 開催場所：キャンパスイノベーションセンター東京

4.3.1.3 議事次第：

①報告

1. JDR の編集状況
2. 来年度予算申請
3. 推進会議の内容紹介(11月10日)
4. 地震本部ニュースへの寄稿

②議題

1. 1月5日・6日の全体ワークショップ
2. 2月27日の成果発表会(帝国ホテル)

③その他

4.4 成果発表会

4.4.1 第1回成果発表会（下記のプログラムのとおり）

首都直下地震防災・減災特別プロジェクト
広域的危機管理・減災体制の構築に関する研究
第1回成果発表会

■開催期日：平成21年2月27日（金）

■開催場所：帝国ホテル東京 本館2階 蘭の間

■主催：文部科学省 首都直下地震防災・減災特別プロジェクト
「広域的危機管理・減災体制の構築に関する研究」チーム

プログラム

10:00 挨拶：文部科学省防災科学技術推進室長 渡邊 淳

東京工業大学 教授 本藏義守（プロジェクトリーダー）

10:15 研究の枠組みの紹介 京都大学防災研究所 教授 林 春男

10:30 全体ワークショップの成果報告

新潟大学災害復興科学センター 准教授 田村圭子

効果的な行政対応態勢の確立：一元的危機管理対応体制の確立【重川チーム】

11:00 チーム紹介 富士常葉大学大学院環境防災研究科 教授 重川希志依

11:05 報告1：「被災者生活再建にかかわる災害対応業務分析」

富士常葉大学大学院環境防災研究科 教授 重川希志依

11:25 報告2：「被害の認定にかかるシステムの提案」

富士常葉大学大学院環境防災研究科 准教授 田中 聡

11:45 質疑応答

広域的情報共有と応援体制の確立【目黒チーム】

11:50 チーム紹介 東京大学生産技術研究所 教授 目黒公郎

11:55 報告1：「広域的情報共有環境の実現のために」

京大学生産技術研究所 教授 目黒公郎

12:15 報告2：「情報共有システムを構成する個別システムのご紹介」

山梨大学大学院医学工学総合研究部 教授 鈴木猛康

12:35 質疑応答

12:40 昼食

相互に関連したライフラインの復旧最適化に関する研究【山崎チーム】

- 13:40 チーム紹介 千葉大学大学院工学研究科 教授 山崎文雄
13:45 報告1:「ライフラインの相互関連構造の分析とそのモデル化」
岐阜大学工学部 教授 能島暢呂
14:05 報告2:「自律分散型拠点構築による地域防災力向上」
横浜国立大学大学院環境情報研究院 教授 佐土原 聡
14:25 質疑応答

効果的な行政対応態勢の確立:地域・生活再建過程の最適化に関する研究【中林チーム】

- 14:30 チーム紹介 首都大学東京大学院都市環境科学研究科 教授 中林一樹
14:35 報告1:「首都直下地震の被害特性と都市復興イメージ」
東京大学大学院工学系研究科 助教 加藤孝明
14:55 報告2:「東京の震災復興想定と市街地復興の可能性」
首都大学東京大学院都市環境科学研究科 准教授 饗庭 伸
首都大学東京大学院都市環境科学研究科 教授 中林一樹
15:15 質疑応答
15:20 休憩

効果的な行政対応態勢の確立:効果的な研修・訓練システムの確立【林チーム】

- 15:40 チーム紹介 京都大学防災研究所 教授 林 春男
15:45 報告1:「状況認識の統一のためのEmergency Mapping Center活動」
京都大学生存基盤科学研究ユニット 助教 浦川 豪
16:05 報告2:「被災者台帳を用いた統合的な生活再建支援」
新潟大学災害復興科学センター 助教 井ノ口宗成
16:25 質疑応答
16:30 総合討論:何をめざすのか
モデレーター: 京都大学防災研究所 准教授 牧 紀男
討論者: 各チームリーダー+当日の話題提供者全員+聴衆
17:00 終了 (敬称略)

4.5 対外発表

4.5.1 成果の論文発表・口頭発表等

発表成果、掲載論文	発表者氏名	発表場所	発表時期	国際・国内の別
建物被害調査の標準的な方法やノウハウのビデオコンテンツ化(ポスター発表)	堀江啓, 田中聡	地域安全学会梗概集 No.23 (2008年), 地域安全学会	2008.11	国内
Analysis of the Process of Providing Public Support Programs for Damaged Dwelling Restoration :A Case Study of Recent Earthquake Disasters (ポスター発表)	Shigekawa Kishie, Tanaka Satoshi, Takashima Masasuke	Proceedings of the 14 th World Conference on Earthquake Engineering (CD-ROM)	2008.10	国際
Development of the Building Damage Self-Inspection System for Earthquake Disaster (口頭発表)	Tanaka Satoshi, Shigekawa Kishie, Takashima Masasuke	Proceedings of the 14 th World Conference on Earthquake Engineering (CD-ROM)	2008.10	国際
Case Studies on the Household Recovery Assistance Operation Based on Customer Relationship Management in Recent Earthquake Disasters in Japan (口頭発表)	Takashima Masasuke, Shigekawa Kishie, Tanaka Satoshi	Proceedings of the 14 th World Conference on Earthquake Engineering (CD-ROM)	2008.10	国際
被災者生活再建カルテシステムの提案 平成19年能登半島地震・穴水町の被災者生活再建支援業務への適用(口頭発表)	高島正典, 重川希志依, 田中聡	日本建築学会大会学術講演梗概集(中国), 日本建築学会	2008.9	国内
自治体の被災者生活再建相談窓口における相談内容の分析 -2007年能登半島地震における穴水町を事例として(口頭発表)	高島正典	第27回日本自然災害学会学術講演会要旨集, 日本自然災害学会	2008.9	国内
建物被害調査をトレーニングするビデオ教材の開発(口頭発表)	堀江啓, 田中聡	第27回日本自然災害学会学術講演会要旨集, 日本自然災害学会	2008.9	国内
自立再建の促進に向けた生活再建関連制度の支援内容と申請方法の自習支援システムの開発(口頭発表)	大脇桂, 高島正典	第27回日本自然災害学会学術講演会要旨集, 日本自然災害学会	2008.9	国内
2007年新潟県中越沖地震における建物被害認定調査プロセスに関する考察—柏崎市における再調査の事例—(口頭発表)	田中聡	地域安全学会梗概集 No.22 (2008年), 地域安全学会	2008.5	国内
被災者生活再建支援法改正過程の分析	重川希志依, 田中聡, 高島正典	地域安全学会論文集, No.10	2008.11	国内
建物被害認定自己診断システムの提案—自己診断—自己申告モデルの構築にむけて—	田中聡	地域安全学会論文集, No.10	2008.11	国内
穴水町被災者生活再建支援業務における「くらしの再建カルテ」の試み	高島正典, 重川希志依, 田中聡	地域安全学会論文集, No.10	2008.11	国内
NHKスペシャル 阪神・淡路大震災 秘められた決断	重川希志依	NHK	2009.1.17	国内
事前復興まちづくり:『事前』からよい復興に向けての準備は可能なのか?(ポスター発表)	市古太郎	日本建築学会大会(中国)都市計画部門パネルディスカッション「よい復興とは」	2008.9	国内
An Action by Residents for Keeping Sustainability in Revitalization Process from the Niigata-Chuetsu Earthquake (口頭発表)	Masahiro SAWADA (単著)	The 21th EAROPH World Congress at Hyogo	2008.10	国内の国際会議
東京圏基礎自治体における	市古太郎, 村上大	地域安全学会	2008.11	国内

発表成果、掲載論文	発表者氏名	発表場所	発表時期	国際・国内の別
震災復興対策の事前取り組み状況-2007年アンケート調査から-(口頭発表)	和, 中林一樹			
A STUDY ON ADMINISTRATIVE SUPPORT IN REVIVAL PROCESS FROM THE NIIGATA CHUETSU EARTHQUAKE IN 2004(口頭発表)	Masahiro SAWADA	Sixth International Conference on Urban Earthquake Engineering (at Tokyo)	2009.3	国内の国際会議
東京における地震危険の事前評価と地震に強い都市づくり	中林一樹	都市科学研究、第2号、2008	2008.3	国内
東京圏基礎自治体における首都直下地震を想定した都市復興準備対策の現況	市古太郎	自治体危機管理学会 2008年度研究大会分科会2課題報告	2008.7	国内
東京の市街地の変遷と防災上の今日的課題	中林一樹	新都市、Vol.62 No.9 2008	2008.9	国内
震災復興まちづくり模擬訓練を通じた地域復興組織イメージの事前形成可能性-練馬区桜台地区の事例から-	市古太郎、饗庭伸、吉川仁、中林一樹	日本災害復興学会、2008年度大会予稿集	2008.11	国内
容積率指定に着目した東京の都市復興に関する研究	饗庭伸、中林一樹、市古太郎、吉川仁	日本災害復興学会、2008年度大会予稿集	2008.11	国内
Pre-Disaster Restoration Measure of Preparedness for Post-Disaster Restoration in Tokyo	Itsuki Nakabayashi, Shin Aiba, Taro Ichiko	Journal of Disaster Reserch Vol.3 No.6, 2008	2008.12	国内
Development of Plannning Support System for Urban Rehabilitation and Reconstructin	Takaaki Kato, Itsuki nakabayashi, Taro Ichiko	Journal of Disaster Reserch Vol.3 No.6, 2008	2008.12	国内
Reconstruction or Relocation? ;Planning Issues for Recovery from Disaster	Itsuki Nakabayashi and Taro Ichiko	The 2nd China-Japan Science Forum; proceedings	2009.3	国外の国際会議
復興状況イメージトレーニングの必要性と首都直下地震復興の課題、口頭	加藤孝明	日本災害復興学会 2008年度学会大会	2008.11	国内
首都直下地震における『よい復興』とは、口頭	加藤孝明	日本建築学会大会・都市計画部門・パネルディスカッション	2008.9	国内
首都直下地震における復興状況想定の実践-埼玉県における復興イメージトレーニングの実践-、口頭	加藤孝明	日本自治体危機管理学会研究大会	2008.7	国内
首都直下地震に向けた復興状況の想定トレーニング手法の構築に関する研究:中間報告-埼玉県における取り組み-、口頭	加藤孝明、中村仁、佐藤慶一、廣井悠	地域安全学会	2008.5	国内
首都直下地震における復興状況想定の実践-埼玉県における復興イメージトレーニングの実践-	加藤孝明	自治体危機管理研究、Vol.2, 87-98	2008.10	国内
阪神・淡路大震災後の都市変容の統計的分析(口頭発表)	越山健治	日本建築学会	2008.8	国内
統計指標から見た阪神・淡路大震災における都市変容に関する基礎的考察(口頭発表)	越山健治	日本自治体危機管理学会	2008.7	国内

発表成果、掲載論文	発表者氏名	発表場所	発表時期	国際・国内の別
長期復興指標による被災地の復興状況の評価(口頭発表)	紅谷昇平	日本災害復興学会	2008.11	国内
統計指標から見た阪神・淡路大震災における都市変容に関する基礎的考察	越山健治	自治体危機管理研究 Vol.2, 日本自治体危機管理学会	2008.7	国内
長期復興指標による被災地の復興状況の評価	紅谷昇平	日本災害復興学会 2008 年度学会大会予稿集	2008.11	国内
「FGIによる住民意識の調査-復興イメージを中心に-」(口頭発表)	西村 弥	日本自治体危機管理学会 2008年度研究大会	2008.7.12	国内
「FGIによる住民意識の調査-復興イメージを中心に-」	西村 弥、市川 宏雄、飯塚 智規	『自治体危機管理研究第2号』	2008.10.17	国内
「災害発生後の地域住民と自治体-復興過程における住民意識の動向と地域の行政対応-」	市川 宏雄	『講座 危機管理行政第2巻 危機発生！そのとき地域はどう動く-市町村と住民の役割-』	2008.9.15	国内
「FGIによる住民意識の調査-復興イメージを中心に-」	西村 弥、市川 宏雄、飯塚 智規	『日本自治体危機管理学会 2008 年度総会・研究大会予行集』	2008.7.12	国内
実行担当者のエスノグラフィーに基づく罹災証明集中発行業務プロセスの明確化	小松原 康弘、林 春男、牧 紀男他	地域安全学会論文集、No. 10、pp. 77-87	2008.11	国内
神戸市復興計画策定過程の評価と考察	太田敏一、牧 紀男、林 春男	地域安全学会論文集、No. 10、pp. 215-224	2008.11	国内
総合的な復興評価のあり方に関する検討-阪神・淡路大震災と新潟県中越地震の復興検証-	牧 紀男、田中 聡、田村 圭子、木村 玲欧、太田敏一	地域安全学会論文集、No. 10、pp. 225-232	2008.11	国内
応急対策から復旧・復興対策までを包括的にとらえ、被害の軽減を目指す	林春男	地震本部ニュース	2008.11	国内
Special Issue on “Crisis Management Following Tokyo Metropolitan Near Field Earthquake”	Haruo Hayashi	Journal of Disaster Research Vol.3 No.6	2008.12	国際
「継続性と発展性」を追求した大学組織の地震防災体制確立の試み	木村玲欧・林能成・鈴木康弘・飛田潤	土木学会・安全問題研究論文集, Vol.3	2008.11	国内
Local Community Response to Disaster Vulnerable Populations: Lessons Learned from the 2007 Noto Peninsula Earthquake (口頭)	Shigeo Tatsuki	Asia Pacific Volunteer Leadership Conference	2008.9.17	国際
平成19年能登半島地震における災害時要援護者への対応に関する質的研究-要介護高齢者支援組織の対応過程分析より-(口頭)	Nicolle Comafay・北浜陽子・飛岡香・立木茂雄	地域安全学会第23回大会	2008.11.15	国内
Evacuation & Sheltering Assistance for Persons with Special Needs at Times of Disaster: Lessons Learned from Typhoon 23, Heavy Rainfall and Earthquake Disasters in Year 2004 (口頭)	Shigeo Tatsuki	Korean Society for Hazard Mitigation	2009.3.9	国際
災害時要援護者の個別避難支援計画づくりをどのように進めるか-2007年3月能登半島地震の地域・行政の要援護者対応調査をもとにして-	立木茂雄	消防科学と情報, No.92, pp.23-29.	2008.4	国内

発表成果、掲載論文	発表者氏名	発表場所	発表時期	国際・国内の別
平成19年能登半島地震における災害時要援護者への対応に関する質的研究—要介護高齢者支援組織の対応過程分析より—	Nicolle Comafay・北浜陽子・飛岡香・立木茂雄	地域安全学会論文集, No.10, pp.521-530.	2008.11	国内
The Development and Validation of Disaster Response Competency Profile Indices	Shigeo Tatsuki	Journal of Disaster Research, No. 3, Vol. 6, pp.429-441.	2008.12	国際
都市型大規模震災における中長期的生活再建リスクのシナリオ表現	坪川博彰・長坂俊成・永松伸吾・花島誠人・池田三郎	日本リスク研究学会第20回研究発表会講演論文集, Vol. 20, 317-322	2008	国内
Participatory Risk Communication Method for Risk Governance Using Disaster Risk Scenarios	Nagasaka, T., Tsubokawa, H. and Usuda, Y., Nagamatsu, S., Miura, S., Ikeda, S.	Journal of Disaster Research, Vol.3, No.6, 442-456.	2009.03	国内
新潟県中越沖地震における新潟県の災害情報マネジメントの調査分析～情報収集から災害対策本部会議資料作成まで～(口頭)	近藤伸也, 目黒公郎, 河田恵昭	土木学会第63回年次学術講演会	2008.9.	国内
図上訓練での対応事例を踏まえた自治体の災害情報マネジメント(口頭)	近藤伸也, 目黒公郎, 河田恵昭	第27回日本自然災害学会学術講演会	2008.9.	国内
災害対応時における複数機関の連携を視野に入れた現行の地域防災計画の分析(口頭)	近藤伸也, 東太一, 目黒公郎	日本災害情報学会第10回研究発表大会	2008.10.	国内
地震災害に対する緊急消防援助隊の到達時間について(ポスター)	鄭炳表, 新井場公德, 杉井完治, 座間信作, 岡部弘志, 関沢愛	第23地域安全学会回研究発表会(秋季)	2008.11.	国内
緊急地震速報に基づくリアルタイムスロッシング予測	座間信作, 遠藤真	消防研究所防研究所報告	2009.3.	国内
プローブカー情報の利活用におけるユビキタス減災情報の提供に関する研究(口頭)	鈴木 猛康 秦 康範 小玉乃理子	第37回土木計画学春大会	2008.6	国内
災害対応に欠かすことのできない情報の共有とは	鈴木 猛康	電子情報通信学会誌, Vol.2, No.3	2009.3	国内
地方自治体の災害対応活動における情報共有に関する実態調査	鈴木 猛康 天見 正和	日本地震工学論文集, 第9巻, 第2号	2009.2	国内
新潟県中越地震における通れた道路マップの提供とプローブカー情報の減災利用実現に向けた課題と展望	秦 康範 鈴木 猛康 下羅 弘樹 目黒 公郎 小玉乃理子	日本地震工学論文集, 第9巻, 第2号	2009.2	国内
道路交通での速度違反取り締まりにおける確率的な罰政策の効果(口頭)	松井宏樹, 野田五十樹, 和泉潔	人工知能学会全国大会	2008.06.13	国内
Integrated Simulation and Information Sharing System for Disaster Mitigation (招待講演)	Itsuki Noda	8th International Conference on Cellular Automata for Research and Industry (ACRI 2008)	2008.09.23	国際
Efficiency of Integration of Emergency Management Information Systems By a Geographical Feature Database Service (ポスター発表)	Ken Okamoto, Itsuki Noda, Tomoyuki Yoshiwara, Yasumasa Ode, Shigeru Matsuda, Yoshiyasu Yamada, Hiroshi Tanaka	American Association for the Surgery of Trauma, the 67th meeting	2008.09.27	国際

発表成果、掲載論文	発表者氏名	発表場所	発表時期	国際・国内の別
IT Framework for Disaster Mitigation Information Sharing	Itsuki Noda, Hiroki Shimora, Hiroki Matsui, Hiroshi Yokota, Akihiro Shibayama, Yoshiaki Hisada, Masahiro Murakami, Takeyasu Suzuki, Yasunori Hada, Takeshi Yamada, Shinsaku Zama, Yasushi Hada, Jun-ichi Meguro, Ken Okamoto	Journal of Disaster Research	2008.12.31	国際
Tenmads: a software distributed multi-display implementation for practical and low-cost applications (口頭発表)	上田真史, 竹内郁雄	IEEE STFSSD 2009 (東京)	2009.3	国内 (国際会議)
災害情報可視化システムの開発	村崎大輔, 藁科光徳, 小池英之, 荒川淳平, 上田真史, 竹内郁雄	日本地震工学会論文集 第9巻第2号 (特集号)	2009.2	国内
2007年新潟県中越沖地震における柏崎平野内の地震動分布推定 (口頭発表)	末富岩雄, 福島康宏, 塚本博之, 石田栄介, 山崎文雄	土木学会第63回年次学術講演会 (東北大学)	2008.9	国内
Use of Digital Aerial Images to Detect Damages due to Earthquakes (口頭発表)	F. Yamazaki, D. Suzuki, Y. Maruyama	14th World Conference on Earthquake Engineering, Beijing, China	2008.10	国際
Extraction of Building Damages in the 2007 Niigata-Ken Chuetsu-Oki Earthquake Using Digital Aerial Images (口頭発表)	D. Suzuki, F. Yamazaki	28th Asian Conference on Remote Sensing, Sri Lanka	2008.11	国際
Seismic Shutoff Characteristics of Intelligent Gas Meters in Multistory Buildings Based on Actual Earthquake Data and GIS (口頭発表)	Y. Maruyama, F. Yamazaki, T. Nitto, N. Hosokawa	11th East Asia-Pacific Conference on Structural Engineering & Construction, Taipei, Taiwan	2008.11	国際
デジタル航空画像を用いた2007年新潟県中越沖地震の建物被害抽出 (口頭発表)	鈴木大輔, 山崎文雄, 丸山喜久	日本地震工学会・大会-2008 (仙台)	2008.11	国内
振動台実験と実地震データに基づくマイコンメーター遮断特性の評価	矢野嘉久, 丸山喜久, 山崎文雄, 山内亜希子, 菜花健一	土木学会論文集A, Vol. 64, No. 2, pp.248-257	2008.4	国内
リアルタイム地震情報の利用技術の最新動向	山崎文雄	検査技術, 日本工業出版, Vol. 13, No. 8, pp.8-14	2008.8	国内
マルチエージェント・シミュレーションを用いた高速道路走行車両に与える緊急地震速報の影響に関する検討	松本和貴, 丸山喜久, 山崎文雄	地域安全学会論文集, No. 10, pp. 321-330	2008.11	国内
Estimation of Seismic Shutoff of Intelligent Gas Meters in the Tokyo Metropolitan Area	Y. Maruyama, F. Yamazaki, Y. Yano, N. Hosokawa	Journal of Disaster Research, Vol. 3, No. 6, pp. 400-406	2008.12	国際
道路交通にもたらす緊急地震速報の影響 - 高速道路で緊急地震速報を受信したら -	丸山喜久, 山崎文雄	画像ラボ, Vol. 20, No. 3, pp. 7-12	2009.2	国内
復旧支障の原因となるライ	袴田健太・能島暢	土木学会中部支部平	2009.3	国際

発表成果、掲載論文	発表者氏名	発表場所	発表時期	国際・国内の別
フラインの近接被害発生に関する確率論的考察(口頭発表)	呂	成20年度研究発表会、名城大学		
Seismic Vulnerability Index for Lifeline Facilities (口頭発表)	Nojima, N.	第14回世界地震工学会議、北京、中国	2008.9	国際
Prompt Estimation of Strong Ground Motion Near Focal Region Based on Fault Inversion from Acceleration Records (口頭発表)	Kuse, M., Sugito, M. and Nojima, N.	第14回世界地震工学会議、北京、中国	2008.9	国際
2006年首都圏大規模停電の影響波及に関する考察(口頭発表)	能島暢呂	地域安全学会梗概集、No.22	2008.5	国内
ライフライン施設の地震時同時被害発生に関する確率論的モデル	能島暢呂・袴田健太	東濃地震科学研究所報告、No.24、11p。(印刷中)	2009.3	国内
脆弱性指数を用いたライフライン網の地震時脆弱性評価～上水道配水管網への適用～	能島暢呂	地域安全学会論文集、No.10、pp.137-146.	2008.11	国内
地震時におけるライフラインシステムの停止・寸断によるシステム影響度(口頭発表)	豊田安由美、庄司学	日本地震工学会大会—2008梗概集	2008.11	国内
ライフラインネットワークの地震ハザードに対する俯瞰的システム信頼性評価(口頭発表)	庄司学、伊藤顕子、田端雅史	日本地震工学会大会—2008梗概集	2008.11	国内
ライフライン事業者が想定する地震時応急復旧活動のシナリオとその相互依存関係—首都直下地震を想定した場合の事例分析—	豊田安由美、庄司学	地域安全学会論文集	2008.11	国内
首都圏における地域防災力向上のための自立分散型拠点構築に関する調査分析(口頭発表)	稲垣景子、佐土原聡	地域安全学会(地域安全学会論文集No.10、pp.11-19)	2008.11	国内
分散型エネルギーシステムの面的利用による街区のサステナビリティ向上に関する研究(その9) 事例研究5: 都心区ならびに全国における導入可能性とその効果(口頭発表)	元アンナ、佐土原聡、村上周三、市川徹、長谷川巖、青笹健	日本建築学会大会(学術講演梗概集D-1、pp.779-780)	2008.9	国内
既成市街地における建物間エネルギー融通に関する研究 その1 新横浜3施設ESCOにおける実例検証(口頭発表)	村井雄高、吉田聡、佐土原聡	日本建築学会大会(学術講演梗概集D-1、pp.795-796)	2008.9	国内
既成市街地における建物間エネルギー融通に関する研究 その2 建物間エネルギー融通検討モデルの提案(口頭発表)	佐土原聡、吉田聡、市川徹、山城耕司	日本建築学会大会(学術講演梗概集D-1、pp.797-798)	2008.9	国内
既成市街地における建物間エネルギー融通に関する研究 その3 建物間エネルギー融通の効果と要因に関する考察(口頭発表)	吉田聡、佐土原聡、市川徹、山城耕司	日本建築学会大会(学術講演梗概集D-1、pp.799-800)	2008.9	国内
スタジアムにおける非常時を踏まえたエネルギー消費改善に関する研究(口頭発表)	五味尚、佐土原聡、吉田聡	日本建築学会大会(学術講演梗概集D-1、pp.735-736)	2008.9	国内
地震時の下水道管路の応急復旧戦略に関する検討、口頭	永田茂	土木学会 第63回年次学術講演会、東北大	2008.9	国内

発表成果、掲載論文	発表者氏名	発表場所	発表時期	国際・国内の別
発表		学		
地震時の下水道管路の応急復旧戦略に関する検討, 口頭発表	永田茂	土木学会 第63回年次学術講演会、東北大学	2008.9.10	国内
企業活動に対するライフライン・インフラの機能障害の影響について, 口頭発表	永田茂	首都直下地震防災・減災特別プロジェクト ③八都府市首都直下地震対策研究協議会, キャンパスイノベーションセンター東京	2008.12.19	国内
An Emergency Restoration Model for Water Supply Network Damage due to Earthquakes	Nagata, S., Kageyama, K. and Yamamoto, K.	Journal of Disaster Research, Vol.3, No.6	December,2008	国内

4.5.2 特許出願, ソフトウェア開発, 仕様・標準等の策定等

4.5.2.1 特許出願

・なし

4.5.2.2 ソフトウェア開発

名称	機能
被害想定事例データベース編集システム	モデル世帯毎に作成される被害想定事例データベースにデータを登録・検索・編集するための機能。
減災情報共有データベース (DaRuMa) ver. 20090331	Web Service 化、汎用性・可搬性強化、検索機能強化
マルチマウスと仮想画面共有によるリアルタイム共同作業基盤「天窓」	仮想大画面をネットワーク経由で共有し、マルチマウスによって協調作業をするための基盤システム
広域連携している自治体災害対策本部システム Country Maam	県庁等に置いたサーバの災害情報仮想大画面を各機関が共有できるようにするシステムのプロトタイプ
Country Maam・N-NET 連携システム	JAXA の D-NET と連携して、ヘリコプターによる患者搬送を円滑に行う実験システム

4.5.2.3 仕様・標準等の策定

・なし